

平成 30 年度 食育推進に係る実践報告書

学校名	福山市立旭小学校
-----	----------

1 学校における食育の現状（昨年度からの課題等）

本校は、児童数 268 人、学級数 13 学級で、市内中心部に位置する学校である。給食は、市内統一献立による共同購入をおこなう単独調理方式であり、食数は東中学校分約 450 人分を合わせて約 750 食である。近隣には田畑がなく食物の生産に係る場面に触れる機会が少ないためか、野菜の育つ様子や食べものの旬を知らない児童もいると思われる。野菜や魚を使った献立の残食もみられた。食べものへの興味関心を高め、食材に対する感謝の気持ちも高めていきたい。

2 学校の食育に係る目標（成果指標・目標値）

1 給食指導の充実

食べものの働きや、食べものの栄養に関する知識を高め、食べものへの興味関心を高める。

食事のマナーの定着と向上を図る

2 旬の食材や地場産物、郷土料理への理解を深める

3 家庭や地域への情報発信を行い、家庭の食文化の向上を図る。

3 食育の目標に対する具体的な取組

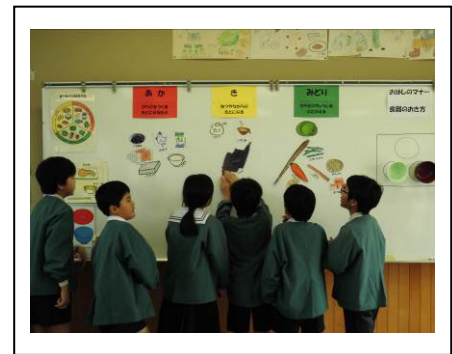
【取組 1】（テーマ）給食指導の充実

○ 担任、栄養教諭による給食指導

- ・清潔な環境づくり
- ・個々に応じた配膳（量の調節）
- ・食事マナーの定着と向上
- ・よくかんで放送を聞きながら集中して食べる。

○ ランチルーム給食の実施

- ・食事のマナーを守って楽しく食べる。食器を置く位置の指導や、正しい箸の持ち方の指導。（豆はこびを通して正しい箸の持ち方などを練習した）
- ・ランチルーム給食時は毎回、1 食分の給食に使われている食べものの紹介をした。食べものを働き別（赤、黄、緑）に分け、毎回確認をし、食べものの働きや、食べものの栄養に関する知識が高まるよう繰り返し取り組んだ。



- ・ランチルーム時は、食材クイズや、学習内容を思い出せるような話題で児童の興味関心を持たせるよう工夫した。(既習学習のふりかえり)



○ 給食委員会の活動

- ・給食時間の前後で、点検（給食着、マスク調べや、後片付け、残菜調べ）をし、児童朝会で発表すること等を通して各学級へ注意喚起を行った。
- ・給食委員会で給食放送や掲示物を作成して掲示することで、「食」に関心を持つ児童が増えた。

【取組2】(テーマ) 旬の食材や地場産物、郷土料理への理解を深める

- 旬の食材を児童が見ることができるよう説明文とともに食材を校内に展示した。
- ランチルーム横の花壇で野菜等を栽培し児童に成長を知らせ、野菜の育つ場面や実物を間近で見せることで、食に興味・関心を持たせた。



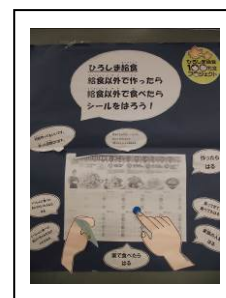
【取組3】(テーマ) 家庭や地域への情報発信

- 給食レシピ配付
 - ・毎月納入業者へ配付
 - ・保護者へは「ご自由におとりください」校内にレシピ配付（年間50種以上）
- 食育だよりを毎月1回発行
- 毎日の給食写真をカレンダーにして校内に掲示
- 学校HPにて食育関係を紹介
- 福山市学校給食パネル展でパネル展示（右写真）
- 1年生保護者対象給食試食会の実施



4 「ひろしま給食100万食プロジェクト」の取組について

- ・毎月ひろしま給食を給食で提供（福山市統一献立）
- ・教職員用たより、保護者用たより、レシピ配付
- ・給食放送，校内掲示，給食時間の指導による児童への周知
- ・子ども料理教室での調理実習



5 取組に対する成果と課題

【成果】

- ・給食時間の取組や掲示物等により、「食に関する実態調査」（11月実施，対象5年児童）では，知っている広島県の食材について記入割合が93.3%，知っている広島県の郷土料理の記入割合が91.1%だった。
- ・実際の食材を見せることで，子どもたちも食に関心をもつことができた。
- ・保護者だけでなく，児童もたくさん持ち帰るなど，レシピ配付の取組は好評を得た。

【課題】

- ・食事のマナーの定着ができていない児童が多くいる。
- ・残菜指導をした際は残菜は減っていたが，また増えているので継続して指導が必要。
- ・朝食についての調査では，「毎日食べる」「ほぼ毎日食べる」が全体で95.5%，「食べる食べない半々」「ほとんど食べない」「まったく食べない」が全体で4.5%程度だった（児童の生活アンケート調査結果より）。主食，主菜，副菜がそろった食べることは大切なことだと理解している児童は100%だが，実際に主食，主菜，副菜がそろった朝食を食べていると答えた児童は71.1%だった。（「食に関する実態調査」より）。朝食の内容についてさらなる指導が大切。

5 今後の取組に向けた改善方針について

- ・食事マナーの定着を図るため，毎日の給食時間や授業を通して繰り返し指導していく。
- ・給食の残菜を減らし，感謝の気持ちを高める。
- ・朝食（主食，主菜，副菜がそろう）について取り組んでいく。